

中一国語科通信

第四回

○○の力

みなさんは、右の文字を見て、○○の中にどんなものを思い浮かべますか。スポーツの力、歌の力、自然の力など、様々なことをイメージするのではないでしょか。

私は、これを見た時、「言葉の力」を思い浮かべました。言葉は不思議なもので、力にも毒にもなります。でも、今、新型コロナウイルス感染症で世間が大変な中、言葉の力を使って一生懸命に伝えようとする人々の姿を見る時、言葉の力は大きいなと思うのです。たとえば、以前ニュース番組を見ていていた時のことです。緊急事態宣言後の週末の繁華街（いつも人通りが多く、にぎわっている場所）が映された時、多くのニュースでは、「緊急事態宣言を受けて、渋谷のスクランブル交差点には、ほとんど人がいません。」と伝えていました。そんな中、あるアナウンサーは、「ありがとうございます。みなさんの外出自粛の協力は、きつと二週間後の未来を変えてくれるはずです。」というような発言をしていました。

ニュース番組は、ドラマやバラエティー番組とちが

い、情報を正確に伝えるのが目的の番組です。ですが、後者のアナウンサーのように伝えられた時、「自分でなく、他の人も同じように外出自粛をがんばっているんだ。」「みんながルールを守ることで、二週間後の未来がよくなるといいな。」と、前向きな気持ちになつていていた自分がいました。

同じことを伝えているのに、伝え方一つでプラスにもマイナスになつてしまふのが、言葉の力です。だとしたら、みなさんは、そんな言葉とどのように付き合つていただきたいと思いますか。

いろいろなことに制限がかかっている今の生活は、やりたいこともできず、不便だし不満もたまってしまいます。でも、その一方で、様々な分野の人達が、自分の言葉で誰かに何かを伝えようと様々な工夫をしている場面にも出会います。スポーツ選手のメッセージ、動画やコラムを見ると、今までスポーツの試合などでしか見ることのなかつた選手の意外な一面を見たり、共感したりなど、新しい発見をすることもあるのではないでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツをする高校生の憧れでもある全国高校総体の中止が決まりました。その際、今年の五月三日の読売新聞の朝刊で末続慎吾さんが高校生にメッセージを書いていました。私はこのコラムを読んで、様々なことを経験して

きた者のもつ言葉の力に、ぐつとくるものがあります。した。残念ながら著作権の関係でここに載せることはできませんが、興味のある人はインターネット上でも記事を見られますので探してみてください。

* 末続慎吾さん 陸上選手。二〇〇三年世界選手権二〇〇メートルで、男子短距離ではアジア選手初の表彰台となる銅メダルを獲得した。オリンピックには三大会連続出場している。

【心に響く言葉】

今朝、朝の情報番組を見ていたら、ちょうど今の状況を応援するかのような、歌詞が印象に残る歌に出会いました。ナオト・インティライミさんの「未来へ」という曲です。歌詞の一部だけを紹介しますが、興味があつたら、聴いてみてくださいね。

いつか笑えたからそれでいいさ
いつになつても構わないさ
明日が今日より 少しでもいい日になりますように
ときには雨が降つたつて
そこには夢が待つてんだ
水溜まりに 青空映し
綺麗な虹が架かるように
さあ 自分を信じて 光り輝く未来へ
先週配布された道徳プリントの課題は終わりましたか。みなさんが心にとめている言葉を読むのを楽しみにしています！

新聞のすすめ

みなさんは、毎日新聞を読んでいますか。テレビのニュースやパソコンのネットニュース配信などもあり、新聞をとっているお家も年々減つてきているようです。

でも、新聞にはたくさん情報がつまっています。しかも、毎日新しい情報がやつてきます。そこで、「」では、「新聞」の効用についてお伝えします。新聞をとつていなくても、ネット上には新聞社の無料で読める記事もありますので、探してみてくださいね。

① 自分のペースで情報を得られる！

テレビのニュースなどは映像が一方的に流れていますが、新聞は自分のペースで読めるので、立ち止まって考えたり、読み手に合わせて情報が入つてきます。



② 言葉が増える！

新聞は大人の読者が対象なので、難しい言葉がたくさんあります。でも、分からぬ時に、家族に聞いたり、自分で調べることで、自分の言葉がどんどん増えていきます。ちなみに、今日は私は、「被害遞減（被害が少しづつ減っていくこと）」、「デジタルディバイド（情報をもつ者ともたない者との格差）」など、また新たに言葉を獲得しました！